



名·师·经·典

畅销经典“读解”系列 全新改版

金牌日语名师 刘文照 (日)海老原博◎编著

新日本语能力考试

N2读解 第二版

7大题型分析 + 46篇强化训练 + 2回全真模拟 + 详尽解析，读解全掌握

四箭齐发！轻松过关没问题！

- ① 题型贴合真题，迅速提高解题技巧，掌握解题对策，逐一击破7大题型！
- ② 按不同题型设置专项突破训练，针对性更强，增强解题战斗力！
- ③ 每题均附名师解析，直击考点，剖析难点，突出重点，挑战高分！
- ④ 特别附加所有题目中文译文，全面理解无障碍，让难点无所遁形！



名·师·经·典

畅销经典“读解”系列 全新改版

金牌日语名师 刘文照（日）海老原博◎编著

新日本语能力考试

N2读解

第二版

7大题型分析 + 46篇强化训练 + 2回全真模拟 + 详尽解析，读解全掌握



华东理工大学出版社

EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

· 上海 ·

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试 N2 读解/刘文照,(日)海老原博编著. —2 版. —上海:
华东理工大学出版社,2016.3

ISBN 978-7-5628-4522-5

I. ①新… II. ①刘…②海… III. ①日语-水平考试-自学参考资料 IV. ①H360.41

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2016)第 024170 号

责任编辑 / 嵇 蕾

装帧设计 / 戚亮轩

出版发行 / 华东理工大学出版社有限公司

地址:上海市梅陇路 130 号,200237

电话:021-64250306

网址:press.ecust.edu.cn

邮箱:press_zbb@ecust.edu.cn

印 刷 / 常熟市华顺印刷有限公司

开 本 / 710mm×1000mm 1/16

印 张 / 12.5

字 数 / 269 千字

版 次 / 2016 年 3 月第 2 版

印 次 / 2016 年 3 月第 1 次

定 价 / 29.80 元

版权所有 侵权必究

前言

本书是为参加新日本语能力考试 N2 的考生编写的专题读解学习用书。虽然重点放在了“读解”问题上,但对必要的语法和词汇也在“解析”中作了详尽的说明,所以本书不仅有助于提高“读解”水平,同时也对提高对应级别的语法和词汇等能力有所帮助。

本书由五部分构成,第一部分简要介绍了“读解”的构成,并配备了范文和解析;第二部分按出题题型编写,例如“题目·主题”“指示词”“原因·理由”“事物内容”“正误判断”“填空”“主张·意见”等。每个题型针对其特点配备一到两篇文章,并就出题形式、阅读文章时的技巧和要领、解题方法等作了介绍。每个单元后面都配有一定数量的自测题,并在第五部分附有参考答案和解析。第三部分是综合练习,文章的难度比第二部分略大,提问数量也有所增加,更加贴近真题。第四部分是实战演练,用于检验实际解题能力。第五部分为“答案·解析·译文”,以便读者自习时参考。

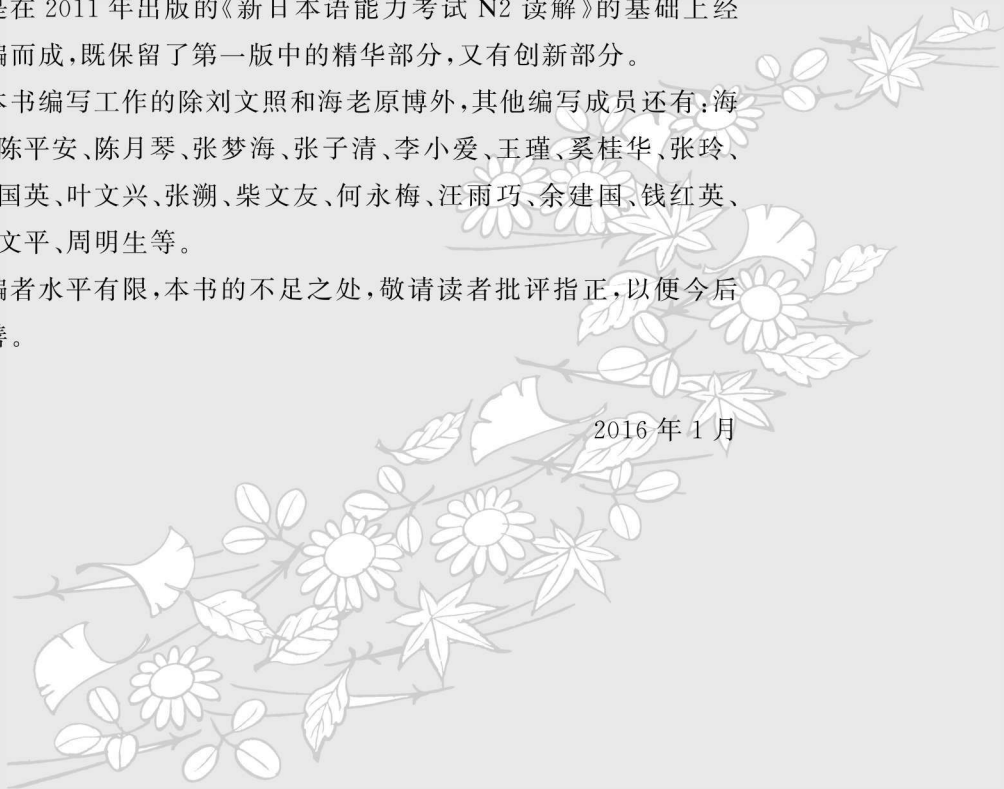
本系列“读解”丛书中所选用的文章绝大部分来自日本原版的书籍、报纸或其他刊物等,文章后未标明出处的,有些是海老原博先生撰写的,有些是委托日本的国语教师撰写的。

本书是在 2011 年出版的《新日本语能力考试 N2 读解》的基础上经过全新改编而成,既保留了第一版中的精华部分,又有创新部分。

参加本书编写工作的除刘文照和海老原博外,其他编写成员还有:海老原恭子、陈平安、陈月琴、张梦海、张子清、李小爱、王瑾、奚桂华、张玲、吴丽萍、萧国英、叶文兴、张溯、柴文友、何永梅、汪雨巧、余建国、钱红英、李爱华、王文平、周明生等。

由于编者水平有限,本书的不足之处,敬请读者批评指正,以便今后进一步完善。

2016 年 1 月



目 录

第一部分 试题解析

一、内容理解(短篇文章)	5
二、内容理解(中篇文章)	7
三、综合理解	11
四、主张理解(长篇文章)	14
五、信息检索	19

第二部分 题型分析

一、题目·主题	26
◎单元练习(短篇文章 5 篇)	29
二、指示词	32
◎单元练习(短篇文章 5 篇)	36
三、原因·理由	40
◎单元练习(短篇文章 6 篇)	46
四、事物内容	49
◎单元练习(短篇文章 5 篇)	54
五、正误判断	58
◎单元练习(短篇文章 5 篇)	61
六、填空	64
◎单元练习(短篇文章 5 篇)	66
七、主张·意见	69
◎单元练习(短篇文章 5 篇)	71

第三部分 综合练习

中篇文章练习(5 篇)	76
长篇文章练习(5 篇)	82

第四部分 实战演练

第 1 回	92
第 2 回	104

第五部分 答案·解析·译文

答案	118
解析·译文(第二部分)	120
解析·译文(第三部分)	148
解析·译文(第四部分)	167

第一部分 试题解析



● N2读解题型介绍

根据「新しい『日本語能力試験』ガイドブック」即《新日本语能力考试指南》(以下简称《考试指南》)的介绍,新考试读解试题的设计,主要从以下两个方面考虑:「どのようなテキストから」(选择何种体裁的文章)和「どのように情報を得るか」(如何获得信息),即读解的构成和阅读方式。

一、“读解”的构成

	题 型	题目数量	文章种类及考试范围
1	内容理解 (短篇文章)	5	文章的素材主要为与现实生活、工作、学习等息息相关的文章。文章的体裁主要为说明文(科普、实验说明等)、指示文(信函、电子邮件等)。字数为200字左右。试题考查的面比较广泛,有事情的原因或理由、句子的含义、文章的归纳、指示词的指代内容、作者的观点、文章的主旨等。
2	内容理解 (中篇文章)	9	文章的素材主要为评论文、解说文、随笔等,字数为500字左右。重点考查考生能否正确理解文章中某一事情的起因或理由、句子的含义等。
3	综合理解	2	文章的素材主要为观点表述文、感想文等,字数为600字左右。考查考生能否理解就同一话题发表不同见解的两篇文章中存在的观点差异或相同之处。
4	主张理解 (长篇文章)	3	文章的素材主要为社论、评论等抽象性和逻辑性比较强的文章,字数为1000字左右。考查考生能否从整体上把握文章或作者的主张、意见等。
5	信息检索	2	文章的素材主要为广告、指南、通知、商务文书、产品说明书等应用文,字数为700字左右。试题要求考生根据提问找出与此相应的必要信息。

二、“读解”的阅读方式

根据《考试指南》的介绍,在考查“如何获得信息”时,出题方主要以以下四种阅读方式为基础设计考试题目。其中,在“短文文章”中主要考查其中一种阅读方式,而在“中篇文章”和“长篇文章”主要考查一种或数种阅读方式。

	考查文章的整体	考查文章的细节
速读	A 速读全文	B 速读部分段落
精读	C 精读全文	D 精读部分段落

● N2读解要点归纳

根据上面的介绍,可以归纳出新考试的读解出题可分为以下四种形式:

1. 测试能否准确理解文章内容(细节)的题目

“内容理解”这一题型在各级别的考试中都会出现。根据《考试指南》介绍,这部分试题“重点测试能否运用语言知识、精读文章细部并准确理解”,主要考查考生对文章中提及的事实关系、理由及原因等的理解。这类题目要求考生采用上述“D 精读部分段落”的阅读方式。

2. 测试能否准确理解文章内容(更宏观部分或全文)的题目

这类试题也属于“内容理解”题型,在 N3~N1 的考试中均会出现。根据《考试指南》介绍,这部分试题“重点测试能否准确把握全文的基调、理解全文的大意、中心思想、作者的观点、论理的脉络”。这类题目要求考生采用上述“A 速读全文”和“C 精读全文”的阅读方式。

3. 要求考生综合比较多篇相关文章(一般为两篇文章)的题目

此题型属于“综合理解”,只在 N1 和 N2 试题中出现。根据《考试指南》介绍,这部分试题主要考核能否“读懂就同一话题发表不同见解的两篇文章中存在的观点差异或相同之处”。这类题目要求考生采用上述“A 速读全文”和“D 精读部分段落”的阅读方式。

4. 从通知、手册等获得相关信息的题目

属于“信息检索”题型,在 N5~N1 的各级别考试中均会出现。根据《考试指南》

介绍,这部分试题“重点测试能否有目的地或能否根据课题需要从材料中获取必要的信息”。这类题目要求考生采用上述“A 速读全文”和“B 速读部分段落”的阅读方式。

一、内容理解(短篇文章)

●文章种类和阅读方法

文章的素材主要为与现实生活、工作、学习等息息相关的文章。文章的体裁主要为说明文(科普、实验说明等)、指示文(信函、电子邮件等)。字数为200字左右。试题考查的面比较广泛,有事情的原因或理由、句子的含义、文章的归纳、指示词的指代内容、作者的观点、文章的主旨等。

根据《考试指南》的介绍,在考查“如何获得信息”时,以下四种阅读方式为基础设计考试题目。其中,在“短篇文章”中主要考查其中一种阅读方式,而在“中篇文章”和“长篇文章”主要考查一种或数种阅读方式。

	考查文章的整体	考查文章的细节
速读	A 速读全文	B 速读部分段落
精读	C 精读全文	D 精读部分段落

“内容理解”(短篇文章)是测试能否准确理解文章内容(更宏观部分或全文)的题目。主要为“重点测试能否准确把握全文的基调、理解全文的大意、全文的中心思想、作者的观点、逻辑关系”等形式的题目。这类题目要求考生采用上述“C 精读全文”的阅读方式。

◎ 例题

問題1 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

ヨーロッパの国々ですと、たいてい^(注)じつづ地続きになっていますから、だいたいインド・ヨーロッパ語族という同じ一つの系統のことばを使っています、単語にしても、発音や意味にしても、あまり大きな違いがないのです。島国である日本では、ことばの点でも、他の国々のことばとかなり違っているも

のですから、外国のことばが入ってきますと、非常に目立ちます。そこで外来語というものが、人々の注意を強く呼び起こすことになります。また、その数もなかなか多いのです。その点は、同じ島国であるイギリスとよく似ています。

(注)地^{じつづ}続き：間に海や川などがなく、土地が続いていること

1 「あまり大きな違いがない」のは、何か。

- 1 地理
- 2 風習
- 3 ことば
- 4 民族

【答案】3

【解析】

这是考查“事物内容”的考题，具体解法见第二部分第四单元“事物内容”。

从「単語」「発音」「意味」「ことば」「外来語」等关键词来看，本篇都是围绕着“语言”展开的，指出陆地相连的欧洲国家在语言方面大同小异的特征。

【译文】

欧洲各国的土地大多是连在一起的，所以欧洲人用的语言基本上同属于印欧语系。无论是单词的发音还是词语的意思，差别不是非常大。但是，在岛国日本，由于语言方面跟其他国家的语言存在着非常大的差异，所以当外国的语言进入日本时就会发现有着非常明显的不同。譬如，日本人在使用“外来语”时就能格外引起人们的注意，而且日语中的外来语数量非常多。这方面跟同属岛国的英国很相似。

1 「あまり大きな違いがない」指的是什么？

- 1 地理位置
- 2 风俗习惯
- 3 语言
- 4 民族

二、内容理解(中篇文章)

●文章种类和阅读方法

文章的素材主要为评论文、解说文、随笔等,字数为500字左右。试题重点考查考生能否正确理解文章中某一事情的起因或理由、句子的含义等。

	考查文章的整体	考查文章的细节
速读	A 速读全文	B 速读部分段落
精读	C 精读全文	D 精读部分段落

“内容理解”(中篇文章)是测试能否准确理解文章内容(细节)的题目。这部分主要为“重点测试能否运用语言知识、精读文章细节并准确理解”的题目。考题的重点在于考查考生对文章中提及的事实关系、理由及原因等的理解。这类题目要求考生采用上述“A 速读全文”和“D 精读部分段落”的阅读方式。

◎ 例题

問題2 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

日本人の学力レベルは世界の中でもトップクラスという調査結果がある。多くの親は率先^{そっせん}して幼いころより子供を実績ある学習塾に通わせ、良い大学に入れ、一流企業へ就職させようとしている。最近のニュースなどを見ても、私立小学校や中学校への受験者数が増えていることが報道されている。いい会社に入るためには、小学校あるいは幼稚園からということらしい。①この傾向は、戦後日本の社会が落ち着いてきてから少しずつ見られるようになったが、数年前のバブル経済の崩壊から一段と激しくなったように思えるのは僕だけだろうか。

ところで、我が子の未来の幸せとはいったい何なのか。安定した収入、高い

社会的地位。確かに自分の子供に貧困生活を望む親はいない。裕福^{ゆうふく}でないにしても、安定した生活を望むし、それが当たり前である。しかし、今の親が子供に望む教育は、果たして未来の幸せにつながるのでしょうか。たとえば一流大学を卒業し、一流の企業に入って裕福な暮らしができたとしても、②知識だけの人間になってしまうのではないか。人間の持つ感性、つまりは人間性の問題である。いくら数学ができたとしても、人と挨拶すら交^かわせなく、たとえ仕事ができたとしても、人を思いやる気持ちさえ持っていない。このような機械的な人間になることが、幸せといえるのだろうか。もちろん知識は必要なものであり、知識を得るために勉強することは大切だ。しかし、人間にとって一番重要なこと、それは機械としてではなく、人間として生きることなのではないだろうか。

(櫻井竜也「日本人と学歴」による)

2 ①「この傾向」はどんなことを指しているか。

- 1 子供の高学歴教育
- 2 子供の高学力教育
- 3 幼児の早期英才教育
- 4 幼児の早期受験教育

3 ②「知識だけの人間」とあるが、ここではどんな人間のことが

- 1 知識が豊かだが、人間性に問題がある人間
- 2 知識豊かで、仕事がよくできる人間
- 3 理論知識のみでなく、社会知識もある人間
- 4 理論知識を生活にうまく応用した人間

4 筆者が最も大切なものと言っているのは何か。

- 1 安定した生活
- 2 人間として生きること
- 3 豊かな知識
- 4 未来の幸せを求めること

2 【答案】3

【解析】

这是考查“事物内容”的考题,具体解法见第二部分第四单元“事物内容”。

指前面提到的「多くの親は率先して幼いころより子供を実績ある学習塾に通わせ、良い大学に入れ、一流企業へ就職させようとしている」以及「いい会社に入るためには、小学校あるいは幼稚園からということらしい」,即“要使孩子将来成龙成凤,必须从娃娃抓起”的倾向,就是选项3所说的“幼儿英才教育”。

3 【答案】1

【解析】

这是考查“事物内容”的考题,具体解法见第二部分第四单元“事物内容”。

「人間の持つ感性、つまりは人間性の問題である」是关键句。这里的「人間性の問題」就是指一个人在为人处世等人性方面存在问题。

4 【答案】2

【解析】

这是考查“主张或意见”的考题,具体解法见第二部分第七单元“主张·意见”。

最后一句是作者的观点,即「人間にとって一番重要なこと、それは機械としてではなく、人間として生きることなのではないだろうか。」虽然作者用的是反问的形式,但表达的却是肯定的语气。

【译文】

有调查表明,日本人的学力水平在全世界属于顶级的。很多父母带头从幼儿时期开始就努力把孩子送进有实力的学习班学习,努力让孩子考上一流大学,最后让孩子进入一流企业工作。只要看看近些年的媒体报道就能发现,报考私立小学和初中的考试人数连年在增加。为了将来让孩子进入好的公司工作,父母们从小学或幼儿园就开始为此规划了。其实这种倾向在战后的日本社会步入稳定期之后就已经有所体现,特别是从数年前的泡沫经济崩溃后变得愈发激烈了。有这种感想的人恐怕不只是我一个人吧。

那么,对于我们的孩子来说,未来的幸福应该是怎样的呢?稳定的收入和较高的社会地位。的确,没有哪个家长希望自己的孩子将来过着贫困的生活。即使不富有,也至少希望生活安定,有这样的想法也是理所当然的。然而,如今的父母寄托给孩子的教育方式,真的会给他们带来幸福生活吗?就算毕业于一流大学,就算进入一流企业,从此过上了富裕的生活,恐怕他们的孩子会成为除了知识外一无所有的

人。人所拥有的感性,即人性可能会出现缺失。一个人数学成绩再好,如果他(她)连跟人打招呼都不会;一个人工作再怎么出色,如果他(她)缺乏对他人的同情心,那么这个人就像是一个机器人,这样的人有什么幸福可言?知识当然不可或缺,为了获得知识,学习是必要的。但是,对于人类来说最重要的不是作为一个机器,而是应该作为真正的“人”生活于世。

2 ①「この傾向」指的是什么?

- 1 孩子的高学历教育
- 2 孩子的高学力教育
- 3 幼儿的早期英才教育
- 4 幼儿的早期应试教育

3 ②「知識だけの人間」在本文中指怎样的人?

- 1 虽然知识丰富,但人性方面存在缺陷的人
- 2 知识丰富,工作出色的人
- 3 不仅具有理论知识,而且具有社会知识的人
- 4 很好地将理论知识运用于生活的人

4 作者认为什么才是最重要的?

- 1 安定的生活
- 2 作为真正的“人”的生活
- 3 丰富的知识
- 4 追求未来的幸福

三、综合理解

●文章种类和阅读方法

文章的素材主要为观点表述文、感想文等,字数为600字左右。试题要求考生能否辨别就同一话题发表不同见解的2篇文章中存在的观点差异或相同之处。

	考查文章的整体	考查文章的细节
速读	A 速读全文	B 速读部分段落
精读	C 精读全文	D 精读部分段落

“综合理解”是要求考生比较并综合多篇相关文章(一般为两篇文章)的题目。这部分主要为“辨别就同一话题发表不同见解的两篇文章中存在的观点差异”的题目。这类题目要求考生采用上述“A 速读全文”和“D 精读部分段落”的阅读方式。

◎ 例题

問題3 次のAとBは、高齢者と階段についての感想文である。それぞれの文を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

A

俳優^{たにけい}の谷啓さんが亡くなられた。階段でつまずいて転倒し、顔や頭を強打したと知り、階段の怖さを改めて思い知らされた。

90歳近い知人の母親が階段を下りる際に足を滑らせて後頭部を打ち、やはり脳挫傷^{のうさしょう}で帰らぬ人となったことがある。聞けば、手すりを取り付けていなかったという。

高齢者は視野も狭くなるため、階段には手すりなどの設置は検討すべきだと思う。

B

足腰が弱くなったお年寄りにとって確かに階段は危険だと思います。ただ、危険なのは階段だけでなく、ちょっとした段差でも、気付かない場合は意外と危ないものです。小さな子どもがいると気をつけますが、お年寄りにも危険な場所がないか気を使ってあげたいものです。

すでに高齢化社会に入った日本では、どのように数多くのお年寄りに配慮と関心を払うか、われわれはもっと努力しなければならないと思います。

5 A 文と B 文の共通点は何か。

- 1 高齢者と階段事故
- 2 階段と死亡事故
- 3 高齢者と危険な場所
- 4 階段と子どもたち

6 A 文と B 文の相違点として合っていないものはどれか。

- 1 A 文は階段での事故を、B 文は段差問題を取り上げている。
- 2 A 文は高齢者を、B 文は子どもにまで問題を広げている。
- 3 A 文は手すりなどの改善を、B 文は気を使う重要性を述べている。
- 4 A 文は高齢者の一般的な例を、B 文は子どもの具体的な例を挙げている。

5 【答案】3

【解析】

这是考查“事物内容”的考题，具体解法见第二部分第四单元“事物内容”。

文章 B 未涉及具体的事故或死亡例子，所以选项 1 和 2 不对；两篇文章的重点是谈论老年人，所以选项 4 不对。

6 【答案】4

【解析】

这是考查“事物内容”的考题，具体解法见第二部分第四单元“事物内容”。

文章 A 涉及的大多是老年人遇到的情况，文章 B 也同样，只是涉及的面稍微广一些，即重点不是举出对儿童不利的设施，所以选项 4 不符合文章内容。